



自動ねじ立盤用
ベントシャंकタップ等特殊工具

- 本社所在地：奈良県奈良市
- 事業概要：ねじ切削工具(タップ)製造販売
- 常時使用する従業員：97名
(2026年9月時点)
- 現在の売上高：15億円
(2025年9月期)
- 法人番号：8150001001909
- Web：https://www.nomuratool.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
野村 拓広

「モノづくりを支えるモノづくり」で奈良から世界へ飛躍

当社は1954年の創業以来、ねじ切削工具の専門メーカーとして、高度な技術で世界の産業を支えてきました。「NOMURA TECHNOLOGY AND SERVICE」の基本理念の下、様々な加工条件に対する<仕様>の最適化を求め、多様なニーズにこたえるべく<もの作りの仕組み>を研究し、フレキシブルな<生産体制>を構築することによって、全世界の顧客にきめ細かなサービスと想像を超える品質を提供することを追求しています。今後のさらなる成長に向けて、工場集約と最新鋭設備の導入により生産キャパシティを倍増させ、グローバル市場の需要を取り込むと同時に、従業員の待遇を向上させ、若者が誇りを持てる雇用を創出し、「モノづくりを支えるモノづくり」で地元奈良を代表する企業としてグローバルニッチトップ企業へ成長し、地域経済を牽引してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、生産拠点の集約・自動化によるキャパシティ倍増、グローバル市場の開拓強化、M&Aの活用や新領域への多角化により、非連続的な成長基盤を構築する。

15

2025

100

2035

課題

- ・生産キャパシティ不足による海外大口案件（インド・欧米等）の失注
- ・3拠点分散による工程間搬送ロスおよびそれに起因する非効率性
- ・熟練工への技術依存と多工程にわたる特殊技術の若手への継承遅れ
- ・100億円企業への変革を牽引する次世代の経営人材や中核人材の不足
- ・物価高騰や価格競争の激化などによる収益性低下の恐れ

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場建設に伴う生産機能の集約による製造リードタイムの短縮
- ・最新の複合加工機・自動化設備の導入による24時間無人稼働の拡大
- ・新工場×自動化設備を駆使した工程全体最適による供給能力の拡大
- ・インド等の現地有力商社を通じたダイレクトな海外提案営業の強化
- ・M&Aによるコーティング工程の内製化や圧造工具市場への新規参入
- ・生産性向上を原資とした大幅賃上げと働きがいのある職場環境整備

実施体制

- 社内体制
 - ・社長直轄の海外営業体制強化によるインド・韓国等へのセールス推進
 - ・工場集約に伴う工程連携を深める多能工化に向けた教育体制の再構築
 - ・次世代の工場長や部門長の早期育成に向けた権限委譲と育成制度構築
- 社外体制
 - ・金融機関との連携による強固な財務基盤の維持と資金調達
 - ・海外現地商社との戦略的パートナーシップ構築による販売網の確立
 - ・外部講師による5S活動や技術研修の継続による組織全体のスキル向上